

【書式A】

施設名 本部事務局

処理番号 8000

大項目	IV 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画							
中項目	1. 予算 2. 収支計画 3. 資金計画							
事業名	予算、収支計画、資金計画							
<b>【年度計画】</b>								
1. 予算 別紙のとおり 2. 収支計画 別紙のとおり 3. 資金計画 別紙のとおり								
担当部課	本部事務局財務課			事業責任者	課長 香取 雄太			
<b>【実績・成果】</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度当初予算について、29年度中に予算配分を実施し、早期に業務を遂行できる体制を整備した。</li> <li>・人件費予算は本部一括管理とし、無駄のない効果的な活用が図られた。</li> <li>・不測の事態に備え本部留保した予算を、7月から9月にかけて発生した台風被害に対応する経費に充てるなど、法人全体で機動的な予算管理を実施した。</li> <li>・精算払の外部資金により資金繰りが困難となる施設に対し、あらかじめ資金の貸与を行うなど、法人全体として効率的な資金管理を実施した。</li> <li>・博物館総務課長会議を開催し、予定されている消費税率改定に伴う各種料金変更に関する検討を行うなど、自己収入の増加に向けた各博物館の取り組みについて情報共有を図った。</li> <li>・四半期ごとに入金される運営費交付金について、国に対し各期の必要額をあらかじめ伝えておくことにより、計画的な資金管理を実施した。</li> </ul>								
<b>【補足事項】</b>								
<b>【定量的評価】</b> 項目	30年度実績	目標値	評定	経年 変化	26	27	28	29
-	-	-	-		-	-	-	-
<b>【年度計画に対する総合評価】</b> 評定：B		<b>【判定根拠、課題と対応】</b> 概ね当初計画に沿った管理が行われている。また、年度内に起こった不測の事態にも速やかに対応した。						
<b>【中期計画記載事項】</b> 管理業務の効率化を図る観点から、各事業年度において、適切な効率化並びに積極的な自己収入の増加に向けた取組を踏まえた予算及び収支計画による運営を行う。								
<b>【中期計画に対する評価】</b> 評定：B		<b>【判定根拠、課題と対応】</b> 計画どおり取組を実施している。						